

平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立梅林小学校	校長氏名	中西 浩二	生徒指導主事氏名	通地 正博
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『梅林祭』

取組のねらい『楽しい学校生活を送ろう』

- ・2年生から6年生までは、梅林祭の取組を通して、クラスが協力し、一つのことを成しとげることで、新しいクラスの結びつきを深め、学校生活の楽しさを味わう。
- ・1年生は、お客さんになっているいろいろなクラスを回る活動を通して、小学校生活の楽しさを味わい、新しい友達と仲良くなる。
- ・たてわり班でお店を回ることで、異学年交流を図る。

取組の具体的内容『みんなで活動し、楽しもう』

1. 日時 6月19日(金) 1～3校時
2. 場所 開閉会式 体育館 活動 各クラス
3. 内容
 - ・たてわり班で回る(1グループ 5～7人)
 - ・2年生～6年生・・・お店を出す *店番・お客さんを前後半で交代
 - ・1年生・・・お客さんとして、各クラスを回る
 - ・たんぼぼ学級・・・交流学級で店番に参加 お客さんとして回る



取組の課題・創意工夫『みんなで力を合わせ、仲良くなろう』

課題

- ・まわる班（5～6人）を作る時に、縦割り班（11～12人）を各学年の人数及び男女比率が均等になるように、二班に分けることが難しかった。回る班の人数が多く、たくさんの店が回れなかった。

工夫

- ・各クラス、自分達で話し合っ何の店を出すのかを決めた。また、店の名前書きからポスター作り、店の準備、当日の店番などをクラス全員で、分担して行うように工夫した。
- ・1年生は、いろいろなクラスの店を回ることで、楽しい経験を味わい、友達との出会いの場を広げられるようにした。
- ・1年生～6年生までが含まれた縦割り班でお店を回ることで、異学年交流を充実させた。

取組の成果（効果）『みんなで楽しく』

児童の感想より

- ・みんなといっしょに必死で考えて完成した出し物は、当日、たくさんのお客さんが来てくれて、うれしかったし、楽しかった。
 - ・みんなで声をかけあい、協力し合っ、店番をすることができた。失敗しても、助け合っできたので、うれしかった。
 - ・みんなで、一致団結してがんばった。
 - ・縦割り班で、あまり話したことのない人たちといっばい話せて、仲良くなった。
 - ・いつも仲良くしている人とはなく、縦割り班でまわるのは、違う楽しみがあっよかった。
 - ・縦割り班の班長が、下の学年の行きたい所を優先して連れて行ってってくれて、楽しかった。
 - ・初めてたくさんのお店をまわることができ、楽しかった。まわる時もお兄ちゃん、お姉ちゃんがやさしくしてくれたので、うれしかった。
 - ・6年生として、責任を果たせたことに満足した。
- 以上のように「楽しかった」、「うれしかった」、「協力」、「責任」ということばを多くの児童が使っっており、ねらいを達成できたように思われる。

今後の展開『継続した取り組み』

- ・「梅林祭」だけではなく、休憩時間を利用してのクラス対抗の綱引き大会や長縄跳び大会があるので、当日だけではなく、練習からクラス全員で取り組んでいき、クラスの一体感を味わわせる活動をさせていく。
- ・登校班で登校する時や、児童朝会での縦割り班で活動する場面で、他の学年の児童に対して、思いやりのあることば使いをするように指導していく。

他校へのアドバイス『継続させていく』

- ・縦割り班をつくり、児童に班を覚えさせるのは、大変であるが、異学年交流を仕組み、継続することによって、下の学年に対しての思いやりの心は育っくと思われる。
- ・クラスの結びつきを深める活動を、単発ではなく計画的に取り入れていくと、子ども達が目的意識をもちながら活動していくことができる。